

胃部X線(バリウム)検査を受診される方へ

胃部X線検査に使用する硫酸バリウム製剤により、まれにショックなどの過敏症(アレルギー症状)や腸閉塞などが起こることがあります。これらの副作用を予防するため、以下の症状があった方は医師・看護師または、放射線技師に申し出てください(いずれも発生頻度は0.1%未満です)。

- ・これまでに胃部X線(バリウム)検査を受けて、アレルギー症状が出た方
じんましん・気分が悪い・顔色が青白くなる・手足が冷たくなる・喉がつまる・息苦しい・息がしにくいなど
- ・検査当日にお腹が痛い・気分が悪いなど、体調の良くない方
- ・普段から便秘の方、検査後にひどい便秘を経験した方、腸管に狭窄のある方
※検査当日は、なるべく排便をすませてください。また、検査後に、持続する排便困難や腹痛などの消化管症状、アレルギー症状などがみられた場合は、直ちに医療機関を受診してください。

正しい検査が出来るよう、次のことをお守りください

受診できない方

- ◎妊娠中またはその疑いがある方は胃部X線検査を受けることができません。
- ◎インスリンポンプおよび持続グルコース測定器を装置されたまま検査を受けることはできません。

検査前日

- ◎健診前日の夕食は腹八分目程度とし、肉類、脂もの、刺激物、アルコール類などは控え、午後9時頃までにすませてください。水は飲んでもかまいません。
- ◎就寝前の薬は、普段通り服用してください。

検査当日

- ◎検査の2時間前までは200ml以内の水であれば(お茶やコーヒーは厳禁です)飲んでもかまいません。
- ◎入れ歯安定剤は使用しないでください。
- ◎高血圧・心臓病の薬は、午前6時までに必ず服用してください。
- ◎糖尿病の方は、インスリン注射や血糖降下剤の服用を控えてください。

※空腹でインスリン注射や血糖降下剤を服用すると低血糖になる恐れがありますので、検査を実施できません。

検査前

- ◎下着はボタンや金具のついていないものを着用してください。
- ◎時計・めがね・ネックレス・ブラジャー・湿布・貼るカイロおよびエレキバンなどは外してください。

検査後

- ◎バリウムによる便秘を予防するために、空腹時に下剤を飲んでください。
- ◎バリウムが体内に長時間残っていると水分が吸収されて硬くなり、排出されにくくなります。
- ◎検査後は、できるだけ多くの水分をとってください。

